

はぐくむ光のびる若芽

158

関 実川利子

わが家には、三人の娘がいます。今年、やっと二女が中学に入学しました。

長女が産まれてから十七年、今改めて振り返ってみると、特別な躰や教育方針などと考える余裕もなく、無我夢中でここまで過ぎてきてしまったように思います。

特に長女の時には、全てが親としても初めての経験なので、のんびりしている子供を先回りして心配し、口を出してしまふことばかりで、反省しながらも、いまだに同じことを繰り返しているさगरられていた状態です。

幼い頃ほでできるだけ三人同じようにと心かけ、育ててきたつもりですが、今は同じ姉妹でも随分違うものだと思うことが多くなりました。

子供たちが小さい時は早く自分の時間が欲しい

と思っていました。今は休日でも親と出かけたりすることは少なくなり、寂しく感じる時もあります。三人共、友達とおしゃべりしている時が一番楽しそうです。子供たちは自然に親離れしてきます。今まで子供中心で来た私の方が、子

ていこうと思っています。これからどんどん視野を広げ、いろいろな経験をさせて、何事も明るく前向きに考え、それぞれの道を進んでいってほしいと思います。今はうるさがつている子供たちもいつかきつと、いつも応援している親の気持ちをわかってくれると信じています。

明るく前向きにそれぞれの道を



いつも明るい3女の聡美ちゃん

離れするのが難しいのかもしれない。

高1の長女も、今はまだ部活に夢中の中3の二女も、それぞれの進む道を決めなければならぬ時が近づいています。これからはできるだけ、親の意見を押しつけることのない様、見守つ

二女が中学に入ってから、共通の話題も増えたよう。夜、子供同士でよくおしゃべりしています。

そんな時、大人になつても、女同士、よい話し相手の三姉妹であつてほしいと願っているこの頃です。

保健婦メモ

歯周病が気になる人へ

◎歯周病を知っていますか？

「歯槽膿漏」という言葉はよくご存知だと思いますが、歯槽とは「歯の桶」という意味で、歯が入っているくぼみ、歯を支えている部分です。膿漏とは、歯ぐきの周りから膿が出ている状態です。「歯槽膿漏」とは、病名でなく症状を言っています。

最近では、歯そのものではなく、歯を支える周りの組織（歯ぐきや歯を支える顎の骨など）に起こる病気を「歯周病」と呼んでいます。そして、実はかなり多くの人がこの歯周病にかかっています。歯周病の進行は、

歯を失う大きな原因になります。歯周病は、痛みがそれ程ないため見逃しやすく、非常にゆっくりと穏やかに進行します。病気が悪化した時には、急に歯がグラグラたり痛くなる等の症状が現れ、気づいた時には歯を失うという恐ろしい結果が待っています。このような症状があつたら特に痛みがなくても歯周病を疑い、早めに治療することが大切です。



こんな症状がありませんか



●歯を磨くと必ず歯ぐきから出血する



●口臭がある



●歯と歯の間に食物がはさまる



●口の中が粘ついた感じで不快

- 歯ぐきのムズムズ・充血・痛み。
- 歯が以前より長くなったように見える。
- 抜けたままの歯がある。
- 水を飲むと歯や歯ぐきがしみて痛い。
- 歯がグラつき食物を噛みきれない。

難病相談 (予約制)

内容 言葉がスムーズに話せない、歩きづらい、めまい、ふらつきなど神経症状の方、パーキンソン病、脊髄小脳変性症の方のリハビリ
期日 6月26日(木) 場所・申込み 八日市場地域保健センター ☎1281